

---

カエル！ジャパン通信 Vol.177 令和3年10月18日

発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

---

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介

「多様性を尊重した全員活躍の推進～多様な働き方の実践」

2. 最新情報

《お知らせ》 4件

《地方公共団体等の動き》 11件

---

■□■ 1. 取組紹介



「多様性を尊重した全員活躍の推進～多様な働き方の実践」

---

今号では、多様な働き方・効率的な働き方を支える仕組みを段階的に整備し、全員が活躍するための環境づくりを推進されている、カルビー株式会社の取組を御紹介いただきます。

【会社情報】

会社名：カルビー株式会社

事業内容：菓子・食品の製造・販売

本社所在地：東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館22階

社員数：(連) 4,311名 (単) 1,841名 (2021年3月31日現在)

カルビーでは、従業員一人ひとりが能力を十分に発揮し、組織の活性化とイノベーションの創出につなげることで企業の持続的成長を目指しています。多様性を活かした全員活躍の推進や事業環境の変化スピードに対応することで、新しい価値を創造するチャレンジングマインドを有する人財の輩出、組織づくりに取り組んでいます。また、生活（ライフ）の充実が仕事（ワーク）に好影響を及ぼし、それが生活の更なる充実をもたらす「ライフとワークの好循環」を生み出すことで従業員の働きがいにつなげたいとの考えの下、全員活躍推進の施策の一環として、多様な従業員が家庭と仕事を両立し、活躍できるように、さまざまな制度や支援の拡充に努めています。

カルビーでは、従業員が、自ら選択し、そして効率的に働くことを目指して1991年のフレックスタイム制の導入以降、各種制度の導入、取組を実施しています。2014年には在宅勤務制度を開始、2017年に利用日数や場所の制限をなくした「モバイルワーク制度」を導入

しました。2020年7月には、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、オフィス勤務者の働き方を原則モバイルワークとするなどのニューノーマルな働き方「Calbee New Workstyle」をスタート、コアタイムを廃止したフルフレックスタイム制を新たに導入しました。仕事の目的に合わせて、働く「場所」と「時間」を選択し、生産性の向上と成果の最大化を推進しています。その結果、オフィス勤務者を対象とした定期アンケートでは、働き方に対する満足度は70%以上と高い水準で推移しています。より柔軟な働き方を個々が選択することと併せて、仕事の質やスピードを上げていくためには、従業員一人ひとりが意識と行動を変革し、従来型の仕事の進め方、コミュニケーションを見直すことが不可欠です。そのために、ITツールの拡充と整備を行うとともに、ITの活用スキル、リテラシーを高めるための全社での啓発活動や学ぶ機会の提供、職場や個人での取組事例の共有を行い、生産性向上を志向するカルチャーの醸成を図っています。新しい働き方から1年が経過し、リアルと非リアルの使い分けにより「早めに業務を開始し早めに終業できる」「在宅とオフィス出社での業務の組み立てを工夫している」や、「自ら発信する、共有するようにしている」など、従業員の意識・行動にも変化が認められています。カルビーは、今後も、より柔軟な働き方を推奨することで、企業を支える人財が能力をいかに発揮できる環境づくりを目指してまいります。

---

## ■□■ 2. 最新情報

---

《お知らせ》

### 【厚生労働省】

#### ●テレワーク導入に関するセミナー（オンライン）

→テレワークには労務管理やセキュリティの確保が課題となる場合もあります。このため、厚生労働省では、労務管理上及び情報通信技術面における留意点、テレワーク導入事例の紹介、導入企業の体験談など、テレワークに必要な情報に関するセミナーをオンラインで開催します（参加無料）。

第8回：2021年10月27日（水）13:00～16:00

第9回：2021年11月10日（水）13:00～16:00

第10回：2021年11月24日（水）13:00～16:00

申込みはWEBサイトにて

<https://kagayakutelework.jp/seminar/>

#### ●自営型テレワーク活用セミナー（オンライン）

→自営型テレワーク活用セミナーは、「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」を理解することで、自営型テレワークを活用する発注者および仲介事業者と自営型テレ

ワーカーが、トラブルを未然に防止し円滑に業務を進めることを目的としたセミナーです。  
(参加無料)

・発注者・注文者等企業向け @ZOOM ウェビナー

第3回 2021年10月26日(火) 14:00~17:00

第4回 2021年12月9日(木) 14:00~17:00

第5回 2022年2月3日(木) 14:00~17:00

・自営型テレワーカー向け @ZOOM ウェビナー

第3回 2021年10月26日(火) 10:00~13:00

第4回 2021年12月9日(木) 10:00~13:00

第5回 2022年2月3日(木) 10:00~13:00

詳細、申込はWEBサイトにて

<https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/index.html>

(自営型テレワークに関する総合支援サイト)

#### ●「育児・介護休業法」の省令等公布

→厚生労働省では、令和4年4月1日及び令和4年10月1日に施行される改正育児・介護休業法の省令等を公布しました。雇用環境整備や個別周知・意向確認、産後パパ育休制度(出生時育児休業制度)の導入準備等をお願いします。

・改正ポイント

育児・介護休業法 改正ポイントのご案内(リーフレット)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000789715.pdf>

・「育児・介護休業法」の詳細

育児・介護休業法について(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>

#### ●男性の育児休業取得促進セミナー

→イクメンプロジェクトでは、改正育児・介護休業法も踏まえて、男性の育児休業取得促進等に関するセミナーを開催しています(参加無料・要申込み)。令和4年4月1日以降、順次施行される新制度について解説し、企業の取り組みを進めるための情報を提供します。

詳細は、イクメンプロジェクト公式サイトにて

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/event>

《地方公共団体の動き》

【北海道】札幌市

男性の育児休業取得促進セミナー(基礎編)

→男性の育休や育児目的休暇の取得を進めるため、育休取得のメリットや企業の取組事例などを紹介するセミナーを実施します。企業の人事労務担当者のほか、育休を取得したい、職場で取得するためにどうすれば良いか知りたいなど、どなたでも参加いただける内容となっております。

※本事業は厚生労働省主催事業のため、お問い合わせは「男性の育児休業取得促進事業セミナー事務局」宛てにお願いします。

- ・日時：2021年10月19日（火）13:00～15:00
- ・開催形式：ZoomWebセミナー（共催：札幌市）
- ・講師：坂本直紀氏（坂本直紀 社会保険労務士法人代表）
- ・対象：企業の人事労務担当者をはじめ、どなたでも参加いただけます。（先着100名）
- ・参加費：無料
- ・申込方法：WEB、Eメール、FAX（募集チラシ参考）※参加希望の方はお急ぎお申し込みください。

[https://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/wlb\\_katsuyaku/wlbseminar2021.html](https://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/wlb_katsuyaku/wlbseminar2021.html)

#### 【東京都】練馬区

（オンラインZoom）ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催

→ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事と生活の調和」です。人それぞれの希望に応じて、仕事と仕事以外の生活（育児や介護、地域の活動）などのバランスが取れ、両方が充実していることです。働き方改革関連法による労働基準法等の関連法律の改正により、小規模事業者を含む全事業者に長時間労働の削減や育児・介護休業制度の普及などの環境整備が求められています。また、コロナ禍により働き方にも変化が生じています。「事業者の取組」「健康」の両面から「ワーク・ライフ・バランス」について講演を行うワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します。

- ・開催日時：2021年11月12日（金）14:00～16:00
- ・対象：企業・事業所の雇用主および人事労務担当者、テーマに関心のある方
- ・内容：
  - 〈第1部〉テレワークにおける労務管理のポイント  
講師 藤井靖幸氏（特定社会保険労務士）
  - 〈第2部〉新型コロナの最新情報と with コロナの健康職場のつくり方  
講師 福田洋氏（医師、順天堂大学大学院医学研究科先端予防医学・健康情報学講座 特任教授）
- ・費用：無料
- ・形式：今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システム「Zoom」を使ってオンラインで開催します。
- ・申込方法：電子申請にてお申込みください。
- ・申込期限：10月31日（日）

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/jinken/oshirase/worklifeseminer.html>

【新潟県】新潟市

先輩パパの育休体験記

→新潟市男性の育児休業取得促進奨励金を利用した先輩パパに、育児のこと、家庭のこと、仕事のことなどをお聞きしました。

※このページの内容は奨励金制度の利用者からいただいた「育児休業に関する体験記」を元に作成しています。

<https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/danjo/worklifebalance/ikukyu/ikukyuutaikenki.html>

【岐阜県】多治見市

令和3年度男女共同参画講演会

→多治見市では、多くの方に男女共同参画意識を高めてもらうための男女共同参画講演会を毎年開催しています。中部地方9県初の女性の市長として就任された末松市長を講師としてお招きし、御自身の体験談を踏まえ、御講演いただきます。

- ・講師：末松則子氏（三重県鈴鹿市長）
- ・演題：女性活躍推進の取組み
- ・日時：2021年11月4日（木）14:00～15:30
- ・場所：産業文化センター5階大ホール
- ・募集人数：90名
- ・参加料：無料
- ・申込方法：10月22日（金）までに電話またはEメール

<https://www.city.tajimi.lg.jp/kurashi/jinken/bosyu.html>

【愛知県】名古屋市

令和3年度ワーク・ライフ・バランス推進セミナー

→管理職、部下ともに自身が望む生活スタイルを実現できる働き方への転換や心身ともに健康的に活躍するための、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に関する具体的な取組を御紹介します。

- ・セミナータイトル：「管理職が実現するワーク・ライフ・バランス 豊かな人生を実感できる職場作り」
- ・講師：佐藤博樹氏（中央大学大学院戦略経営研究科 教授）
- ・実施方式：オンライン（web会議システムアプリ「Zoom」使用）
- ・日時：2021年11月4日（木）13:30～15:30
- ・定員：先着100名（参加費無料）
- ・対象：名古屋市内に事業所を有する企業の経営者、職場のチーム（部・課等）をまとめる役を担う方、人事労務担当者、メンタルヘルスを推進している方
- ・申込方法：申込フォームからお申し込みください。  
または、チラシ裏面「セミナー参加申込書」に御記入の上、ファックス、電子メールにて送信ください。
- ・申込期限：10月29日（金）

<https://www.city.nagoya.jp/keizai/page/0000145609.html>

【大阪府】 大阪市

(男女共同参画セミナー) ワーク・ライフ・バランス～介護と仕事の両立について考える～  
→リモートや在宅勤務など、これまでとは違った勤務形態や働き方も多様になってきています。働き方が変わる中で、いざ介護が必要になった時、仕事との両立をどう対処するべきかについて学びます。

- ・講師：瀧井智美氏 (株式会社 ICB 代表取締役)
- ・開催日時：2021 年 11 月 13 日 (土) 10:00～12:00
- ・定員：30 名
- ・受講料：無料
- ・形式：Zoom を使ったオンラインセミナー
- ・申込：電話かネット申込にて

<https://www.shisetsu-osaka.jp/shisetsu-nw/koza/detail.html?kozaId=50313>

【島根県】 出雲市

企業向け出前講座

→「働き方改革関連法」の施行など、今後は『働き方』についてこれまで以上にワーク・ライフ・バランスの推進が求められます。従業員の働きやすい職場環境をつくること離職防止、人手不足解消の鍵となります。出雲市では、誰もが安心して働きやすい職場づくりの推進のため、企業・事業所へ無料で講師を派遣する「出前講座」を行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で業務自体が大変な時期とは思いますが、職場の研修等に是非御活用ください。

- ・対象：市内の企業、団体 (おおよそ 10 名以上) (令和 3 年度 10 社程度)
- ・実施方法：貴社へ講師が出向き、講座を開催
- ・講座時間：1 回あたり 60～120 分程度
- ・講師派遣料：無料
- ・申込方法：電話または FAX にて
- ・申込期間：2022 年 2 月末まで

<https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1591056166022/index.html>

【岡山県】

働き方改革推進フォーラム 2021 in OKAYAMA

→コロナ禍により、雇用情勢が厳しくなった一方で、感染拡大防止のため、都市部を中心にテレワークや Web 会議の導入、ローテーション勤務が広がるなど、働き方の新しいスタイルが求められており、これまでの働き方を見直す機会となっています。岡山県では、県内中小企業の働き方改革へのさらなる機運の醸成を図るため、先進的事例や県内企業の実施例を紹介するフォーラムを開催します。

- ・日時：2021 年 11 月 4 日 (木) 13:00～17:00
- ・形式：Zoom 利用によるオンライン配信にて開催

- ・定員：200名（要事前予約、先着順）
  - ・参加費：無料
  - ・プログラム：
    - 〈第1部〉基調講演（1）
    - 「働き方改革に対応する為の生産性向上取り組み事例～IT導入と若手人材確保育成について～」
    - 講師 諏訪貴子氏（ダイヤセイキ株式会社 代表取締役）
    - 〈第2部〉基調講演（2）
    - 「ポストコロナ時代の働き方はこうなる～先進企業に見る実践と課題」
    - 講師 浜田敬子氏（前 Business Insider Japan 統括編集長、元 AERA 編集長）
    - 〈第3部〉県内企業の取組事例
    - 丸山隆行氏（株式会社アイダメカシステム）
    - 大久保陽平氏（倉敷木材株式会社 代表取締役社長）
  - ・申込方法：申し込み専用サイトからのお申込みまたは、チラシへ必要事項を御記入の上、FAX またはメールでお申し込みください。
- <https://www.pref.okayama.jp/page/625685.html>

#### 【岡山県】津山市

令和3年度津山市ワーク・ライフ・バランス推進認定企業の募集について

→津山市では、仕事と生活の両立や男女がともに働きやすい職場環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランスの向上に積極的に取り組む企業を「津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、その取組事例を広く紹介することなどにより、企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進を応援しています。

・対象：ワーク・ライフ・バランスや男女がともに働きやすい職場環境づくりに向けて積極的に取組を行っている津山市内に事業所を有する企業

・認定要件：次に該当するもの（※申請後、津山市の基準による審査があります。）

（1）子育て支援分野：仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいること

（2）介護支援分野：仕事と介護の両立支援に積極的に取り組んでいること

（3）雇用環境整備分野：時間外労働の削減や有給休暇の取得促進など、働き方を見直し、男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいること

（4）地域活動支援分野：仕事と地域活動の両立支援や地域貢献活動に積極的に取り組んでいること

・申請方法：「申請書」と「ワーク・ライフ・バランス推進状況アンケート」をダウンロードし、必要事項を記入の上、お申込みください。

・募集期間：2021年10月1日（金）～12月27日（月）

<https://www.city.tsuyama.lg.jp/life/index2.php?id=7275>

#### 【山口県】山口市

働き方改革のためのチェンジリーダー研修

→残業の削減や年休取得の奨励など、社員のワーク・ライフ・バランスを充実させるための

企業の働き方改革が求められる中で、期待する効果を生み出すためには、企業側だけでなくそこで働く社員の意識改革も大きなポイントとなります。令和 3 年度山口市働き方改革推進企業応援事業として、社員の中にある「そんなの無理だ」の意識を「やってみよう」に変え、働き方改革を実行する「チェンジリーダー」を育成するための体感理解型の行動変容研修を開催します。

※山口市、防府市、宇部市、山陽小野田市、美祢市、萩市、津和野町の事業所が対象となります。

(1) 基調講演（会場・オンライン同時開催）

- ・日時：2021 年 10 月 27 日（水）13:00～16:00
- ・場所 会場開催：やまぐち湯田温泉 防長苑  
オンライン開催：Zoom Meeting
- ・内容：「リクルート社の働き方改革事例研究の御紹介」
- ・講師：岩花和彦氏（株式会社ホープラット）
- ・定員：会場 20 名、オンライン参加 80 名（要事前申込）

(2) 体感理解型研修（オンライン開催）全 3 回

・日時・内容：

（研修 1 日目）2021 年 11 月 10 日（水）13:00～17:00

「働き方改革とダイバーシティーデザイン」

（研修 2 日目）2021 年 11 月 24 日（水）13:00～17:00

「デザイン思考的課題解決」

（研修 3 日目）2021 年 12 月 8 日（水）13:00～17:00

「自社理解とワクワク働き方デザイン発表」

- ・講師：浦川孝雄氏（有限会社オフィスうらかわ）
- ・形式：すべてオンライン（Zoom Meeting）開催
- ・参加申込方法：申し込みフォームから、またはお電話でお申し込みください。

<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/63/108388.html>

【福岡県】北九州市

北九州イクボス同盟 加盟企業の取組を紹介しています

→加盟企業のイクボスへのインタビューです。働きやすく働きがいのある職場づくりへの思いや、具体的な取組を紹介しています。働き方改革やマネジメントのヒントに、ぜひ御覧ください！第 1 弾は、第 14 回北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰で市長賞を受賞した光和精鉦株式会社です。社長が率先してイクボスとなり、風通しの良い職場環境づくりに取り組んでいます。※ページ内リンクから御覧いただけます。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/soumu/15400189.html>

---

【編集後記】

アデコ株式会社がコロナ禍で働く日本全国の男女 800 人を対象に 2021 年 5 月に実施した



調査によると、仕事観について、性別では女性、年代では20代・30代の回答者の方が、コロナ禍の影響をより強く受けたとの結果が得られました。考え方が変わったことの1位は「働き方（時間・場所など）」（64.5%）で、現在活用している働き方の1位は「テレワーク（在宅勤務など）」（28.8%）、今後取り入れたい働き方の1位は「週休3日制」（25.3%）となりました。

この調査結果からも、コロナ禍は、多くの人の人生観、仕事観に大きな影響を与えたことを読み取ることができますが、自らの働き方を考えるきっかけとなったことは、とても意味があったのではないのでしょうか。10月1日には緊急事態宣言も解除され、社会経済活動の制限も段階的に緩和されていきますが、それぞれが最適な働き方を選び、継続できる職場環境に近づけるよう、少しずつ前進していければと思います。

※「コロナ禍による人生観・仕事観への影響に関する調査」（アデコ株式会社／2021年7月公表）

[https://www.adecogroup.jp/pressroom/2021/0728\\_02](https://www.adecogroup.jp/pressroom/2021/0728_02)

---

このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。  
このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/index.html>